

U.S. Indicators

米国 景気の持ち直しが緩やかなことを示唆(16年5月ISM非製造業・総合景気指数)

発表日：2016年6月3日(金)

～新規受注が前月の高い水準から鈍化～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
15/10	58.3	61.8	60.8	58.4	52.0	54.5	49.4	54.5	54.5	52.5
15/11	56.6	59.4	57.9	56.0	53.0	51.5	50.0	49.5	51.0	54.5
15/12	55.8	59.5	58.9	56.3	48.5	50.0	51.0	53.5	49.0	53.0
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5
16/04	55.7	58.8	59.9	53.0	51.0	51.5	53.4	56.5	54.0	54.0
16/05	52.9	55.1	54.2	49.7	52.5	50.0	55.6	49.0	53.5	54.0

(出所) I S M

**非製造業景気指数は
52.9と前月比2.8%
ポイント低下**

16年5月のI S M非製造業景気指数(季節調整値)は、52.9と市場予想の55.3を下回った。前月比▲2.8%ポイントと3ヵ月ぶりに前月から低下した。総合指数の算出に使われる項目では、入荷遅延が上昇したものの、活動指数、新規受注、雇用が低下した。特に、新規受注は54.2と4月の59.9から大幅に低下した。また、雇用は拡大縮小の分岐点となる50を下回っており、雇用の増加ペースが大幅に鈍化したことを示している。項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延(前月比+0.38%ポイント)が押し上げ寄与となった一方で、新規受注(前月比▲1.43%ポイント)、活動指数(前月比▲0.92%ポイント)、雇用(前月比▲0.82%ポイント)が押し下げ寄与となった。

5月のI S M非製造業景気指数は、4月の新規受注が上振れた反動もあり、低下幅が大きくなった。一方、拡大した業種数は全18業種中14業種(4月13業種)と、広がりを伴って改善している。以上より、非製造業門は底打ちした後、緩やかなペースで持ち直していると判断される。

拡大した業種は、医療・社会支援、宿泊・飲食サービス、公益、卸売業、農林水産業、建設業、公的部門、不動産、企業向けサービス、情報産業、金融・保険、小売業、運輸・倉庫、芸術・娯楽・レクリエーション。一方、縮小した業種数は、4業種(4月4業種)と変わらず。継続して縮小したのは、鉱業、教育サービス、その他サービスにとどまっている。

**I S M総合景気指数は
52.7と低下し、景気
再加速のペースが緩や
かなことを示唆**

米国経済全体の景気動向を示す「I S M総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、5月に52.7と、4月(55.2)が高い水準だったこともあり、2.5%ポイント低下した。四半期でみると、4、5月平均で54.0と、16年1-3月期の53.4(15年10-12月期56.1)から小幅の改善にとどまっており、米国経済の拡大ペースが緩やかなことを示唆している。年後半には、ドル高や中国経済の減速傾向による需要

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

抑制が続くもとで、雇用所得の増加による個人消費や住宅投資の拡大を背景に、ISM総合景気指数は緩やかに上昇すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。